とかち新聞　主筆 [illegible]山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　[illegible]351番
本紙購読料　1部35円　1カ月100円　1カ年1,000円

アメリカは戦争お好き

ベトナム侵略戦争は完全に失敗して、あとはアメリカ軍がいかにして体裁よくベトナムから退却するかだけとなつているいま、こんどは性こりもなくおとなりのカンボジヤへの侵略に戦争を拡大。

かつての帝国主義ニツポンが卑劣な手口で真珠湾を攻撃したようにベトナムやカンボジヤがアメリカに戦争をしかけているのでないことは一目瞭然。

資本主義国が高度に発展してゆくと、その精力のハケ口は戦争しかないのか、大資本家にとつてなにがもうかるかといつて、戦争よりもうかる商売はない筈。

協議会の性格でひと論議

第四回定例会

三町議員協議会ひらく

道路の運動で一致

広域行政に疑義の意見も

十勝東北部（本別、足寄、陸別の三町）議員協議会は昭和三十七年にスタートしいらい第四回目の定例会を二十一日午後一時すぎから足寄町公民館でひらきました　この日の出席者は

本別町議会から
長谷川議長をはじめ天野、貫陽、上原、熊本、野崎、井出、石上議員に佐竹事務局長

足寄町議会から
大滝議長、斎藤副議長をはじめ鳴海、矢野、多田、梅松、大久保、大東、新沼、神本、香川、久保田、青木、大野議員に土田事務局長

陸別町議会から
国安議長をはじめ竹内、佐々木、松台、宮古、大橋、矢鋪、桜井、鹿野、林議員

理事者側から
小林足寄町長、渡辺本別町助役、佐々木陸別町助役

などで、はじめに地元の大滝議長、小林町長からあいさつがあり、土田事務局長から一昨年に陸別町でひらいた定例会で決定した事項についてのその後の経過について報告があつて協議に入りました。

はじめに陸別町の佐々木議員から国道二四二号線の舗装促進について協議案が出され、これは三町一致して運動にあたることになつて、つづいて道々陸別～上足寄高級33線林道の昇格については、本別町の井出議員が提出した本別沢ノオソネナイ間の道々昇格への提案と一括して協議した結果、両道路が阿寒湖畔への観光道路で結合するもので、これはとくに三町の理事者が密接に連絡して運動にあたることになりました。

ついで本別町の天野議員から北十勝地区（三町にまたがるもの）大規模農道の早期完成について提案

小林町長　四十五年度から新しい制度として道で七本の予算ワクが決まり十勝に北十勝と西十勝（音更、清水、鹿追）の二本を農林省でヒヤリングしたが、十勝で二本もひどいという声もある[illegible]五十二[illegible]十六[illegible]な工事で、四十六年に着工して[illegible]は舗装まで完成すると[illegible]促進のため特別委員会を構成する必要がある

長谷川議長　上京して中川代議士にお願いしたが、ことしは清水町にはつけられないということだつた

などの発言があつて強力に運動をすすめることになりました。

このあと足寄町の鳴海議員の「議員協議会の性格とこんごの運営について」と矢野議員の『広域行政と自治について』を一括提案しました。

鳴海議員　この協議会の性格を明確にしたい、ひとまわりしたので効果のある協議会をつづけてゆきたい　行政上のことは町長を中心におこなつており、議長会、町村会もある、議決機関が執行機関に出しやばりがましく口出せない、この協議会は自治法上の絶対的なものにならない、自治法上の制約をうけている、意志を統一して性格を明確にしたい

矢野議員　広域行政がおこなわれ、おり自治体関係者はとびついているようだ、[illegible]の財政対策としてよだやれば補助金をやるという、三割自治といわれているが、とびつくことは自治権放棄につながる

執行権の侵害ではないか

エサにつられてやると自ら自治権を放棄することになる、ウカウカとのつてよいか考えて頂きたい、ますます過疎化を早めてゆくのではないか

矢鋪議員　この協議会も四回目だが、はじめたときの趣旨を伺いたい

多田議員　当時はお互いに町の事情を話し合い、親睦の意味ではじめたが、そのつど性格がかわり執行面へ立ち入るのは出すぎで、お互いに話し合い促進するのがはじまりだつた

国安議長　私も当時のことが記憶にあるが、池北三町に関係のある問題を話し合つた、当時、家畜診療所の問題もあり、しのぎをけずつて運動しており、お互いに話し合つて円満にということで、難しい性格云々はなかつた

大滝議長　ただお酒をのんでわかれるだけでなく地域開発を三町である、ひとつのテーマをもちよつてやろうということになり、次二回からはじめて議案を持ちより運動にもちこみ執行にもちこむように発展した

長谷川議長　性格は回をかさねて変つた、広域行政にのらなければ財政の裏ずけがない、現状では止むを得ない、何がかたずば性格[illegible]ない、[illegible]議員、理事者との協議会ではないか

矢野議員　そのようにきいた

国安議長　三町の行政をよくするための[illegible]の話し合いが望ましい

鳴海議員　本別の[illegible]から議員協議会と名称がかわつた、ある問題が解決しなければ協議会をひらけばいとされば性格をハッキリさせなければならない、特別委員会をつくるとしてもどうしてつくるか疑問となる、三町の方向づけをするとしても実行はそれぞれの町の議決機関となる、これをハッキリさせたい

長谷川議長　[illegible]か、三町の協議会をひらいてもゴタゴタしていてはなんにもならない、解決まぎわだつたので解決してからやろうとなつた

矢野議員　執行上の問題まで[illegible]か、執行権の侵害となる[illegible]

長谷川議長　協議会でこうしようと決定した

矢野議員　気をつけるようにしたい、執行権の侵害になるのではないか、性格をハッキリーしたい

天野議員　性格は自治法[illegible]、広域行政は[illegible]に応じ[illegible]、住民の福祉とつながるなかで重大な課題となる、特別委員は鳴海氏のとおりだが、三町の断絶をなくそうとして協議会は[illegible]した、広域行[illegible]

議員と理事者との協議会に

竹内議員　理事者も議員も[illegible]があつまつて話し合う場をつくつてやるのもスジ、理事者を除くと執行権云々となる、理事者と議員が話し合う会とした

貫陽議員　[illegible]なる懇親会をつくつたが、第二回から三町共通の問題をとりあげようということになつた

神本議員　率直にいつて漁業権の問題で小林町長の発言をとりあげて云々されるのでは性格をハッキリしなければならない

大滝議長　大体煮つまつてきた、第一点の協議会の性格は、三町の議員、理事者によつて三町共同の利益のため方向づけをする、協力するためにそれぞれの議会に提案して努力する、ということにするか

神本議員　十勝では総合開発期成会ですすめており

矢野議員　かんじんなところがわからない、具体的にどうするのか

天野議員　どういうものをとりあげるか研究が必要、[illegible]

大滝議長　[illegible]三町が[illegible]事項で[illegible]て、自ら治めるのが自治で、上からの押しつけはダメ[illegible]

鳴海議員　この会合は自治法や会議規則によらないもので、なにらの権限はない、一年に一回顔合せして共通するものを見出して町長へアドバイスする機関である

矢鋪議員　はじまりは親睦が主で、そのとおりでよい、[illegible]行政は町で決定する、懇談を主とすることにしたい

長谷川議長　はじめは懇談会だつたが、それでは味のないことなので話題を出し合うことになつた、性格は多少かわるが、ひとつの[illegible]の意見もかわつてきた[illegible]

[illegible]大滝議長　こんごの運動[illegible]各町議会の手[illegible]ことにする、三町[illegible]理事者と議員が一体となつて実現をはかることにする

天野議員　四十二年からいそういう風に再三してきた、特別委員といつても議会にもつて帰つて諮問を得なければならない[illegible]行権侵害[illegible]力に推進すべきで[illegible]

う生易しいときではない

矢野議員　気にかかるのは、権威をもたせないなら賛成する、三町のただひと[illegible]

大滝議長　[illegible]もちろん[illegible]の手続きをとつ、理事者側の意見もききたい

小林町長　三町・協議会[illegible]まとまつたことは、三町の理事者も共同歩調でゆくべきだと考える

渡辺助役　議員協議会が名称に問題もあるが、われわれの立場で理事者も加わつてほしい、三町の議員の意志はどこにあるかをとらえなければならない、ぜひ加えて頂きたい、もう一度議員協議会の名称はどうか、ここで三町が決まつたことを自分の町へ帰つて議決して強力に運動するのが適当で賛意を表する

佐々木助役　私も代理だ[illegible]えが出れば推進していく、ここで決めたい問題はとりあげないで[illegible]考え、こんご[illegible]

大滝議長　そのように決定する

天野議員　三町の協議会をいつでもひらけるようにしたい

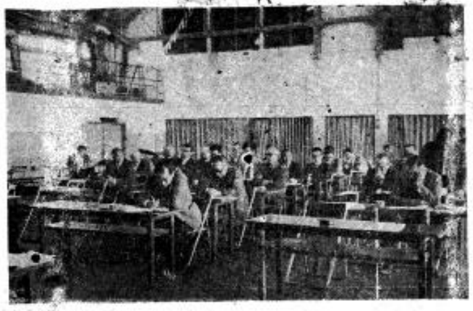
大滝議長　緊急の事案[illegible]だ場合はいつでもひらく[illegible]をあたえてはどうか

矢野議員　定例会だけで[illegible]

鳴海議員　費用負担の問題もあるので緊急の会合は議長が出て、それぞれの議会に出してもらう

大滝議長　緊急の場合は議長が正副の手続きで推進することにしたい

などの論議がかわされて午後四時に閉[illegible]



理事者側もいつしよに

佐[illegible]　長谷川議長　国安議長　大滝議長　土田事務局長

小林町長　渡辺助役　佐々木助役

社説　泥試合はやめよう

（一）

五月九日公示、十六日投票の本別町長選挙は、現町長の水元孝夫氏と前町長の岡崎克雄氏との一騎討ちで争われることが確定的になりましたが、これは前回の昭和四十一年の町長選の攻守ところをかえたむし返しであり、おなじみの二回戦。

（二）

人物にしても政策にしてもほとんどの有権者に知りつくされているようなご両人のことですから、いまさら宣伝これつとめなくても投票日ともなれば選挙民の大半はどちらに一票を投ずるかの判断はついている筈なのに、相もかわらず両陣の運動員だけはお家の一大事とばかりに一喜一憂して動きまわつているのが実態。

（三）

今回の一騎討ちも前回におとらない接戦を予想されているだけに、両陣営がともにヤキモキするのは当然だとしても、それだからといつて勝つためにはお互いになりふりかまわず手段をえらばずに相手のアラ探しに力を入れるやり方はさけたい。

（四）

前回の場合は選挙後に突入するや地元の小新聞を使つて相手候補の婦人関係のスキャンダルをバクロしたためにわずか百十七票の少差で当落を左右したといわれるほどのはげしさでしたが、こうしたことでは勝つても負けてもスッキリした気持になれるものではありません。

（五）

どちらも町民の信任を得て町行政を執行した経験者同士ですからどちらに軍配があがつても町民にとつては心配のないことで、それだけに勝てば官軍、負ければ賊軍という具合に、選挙がおわつてもさらに町内を二分したままでまた四年後の一騎討ちのスタートラインに立つという、そういう敵対意識のおきないキレイな選挙にしたいものです

「三町から道議を—」

足寄で政治力結集への動き

明春の道議選に対してなんとか池北線三町のなかから候補者を立てて当選させおくれているこの地帯の開発に寄与してもらおうと—このほど足寄町内の

大滝健三、日景勝吾、岡崎薫、久保正夫、羽賀欣一、加藤伊三郎、長谷部隆、田中静雄、[illegible]和衛、桜岡綾、川村浩之、水野源次郎、森啓吾、石川富男、秋林寺三郎、河向一夫、大出義夫、木村春三、黒田栄伸

の十九氏によつて「町民政治力結集協議会」の準備会がつくられました。

同準備会では町内多数の有志によびかけて五月 日午後一時から[illegible]ルで第一回の協議会をひらいて与論を結集することになりました。

全十勝社会福祉大会

五月に足寄で

本年度の全十勝社会福祉大会は五月二十二、三の両日にわたつて足寄町で一市、十九カ町村から約六百名があつまつてひらかれます。

二十二日は午後一時から「地域社会で福祉活動の推進について」「低所得世帯などについて」「心身障害者・母子世帯児童への福祉対策について」ならびに老人福祉対策についての三分科会にわかれて研究討議をおこない、二十三日は午前九時から総会をひらいて前年度処理報告につづき各分科会の研究結果の発表をおこなつて全体討議をおこなつてから式典にうつり大会長の式辞、十勝支庁長、帯広市長、足寄町長のあいさつ、各種の表彰、道知事らの祝辞などがあつて午後一時に閉会の予定となつています。

足寄町役場社会課ではこの大会開催の準備に追われています。

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の
♨芽登温泉
足寄町芽登　T二八五

◎造材
マツカラーチエンソー
スチール　チエンソー
共立　チエンソー
◎造林
イリノ　共立
日立　ロビン
刈払機
◎建設
日立　マキタ　神鋼
電動工具
◎酪農
酪農用洗剤！
モーアグラインダー（研磨用）
神鋼印新型売り出し記念　30台かぎり
市価一万二千九百円を九千五百円に割引
造林器具　北の神印　鎌と鍬
ナタ類入荷
機械の修理は迅速低価格！　誠実本位！
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　3[illegible]7

家具と新建材販売
既製家具から
注文建具、サツシ
新築・改築に御相談下さい
桜井建具店
足寄町北5区　T　3[illegible]
建具製作部工場　西5[illegible]

有限会社　協栄建設
小林直道　佐藤善一
中山源吾　山上輝夫
足寄町西[illegible]　T　五六九

新畳　表替　中古畳　ふすま張替
二段ベッド
敷物一式
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T四二八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T三四五

カメラ
八ミリ
写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T四二〇

ふたたび迎える一騎討ち

―はげしい接戦の本別町長選―

５月１１日の公示を前にして本別町長選はすでに[illegible]つた形でそれぞれが選対事務所を設けて本番さながらの[illegible]ていますが、今回もま[illegible]さない[illegible]しい[illegible]の見通しですか。

岡崎克雄氏

水元孝夫氏

本別町長の水元孝夫氏は三月の定例町議会のときには『任期満了のあとのことを町長の立場で申しあげるのは適当ではない』といつて、水元氏らしい慎重な態度を示していましたが、四月十一日臨時町議会では、吉田議長からの『すでに町長の任期満了を相まち選管が告示を決めた。この場合すでに一般町民のなかで、町民の支持をうけて立候補を表明している[illegible]であり、現在、町長の後援会も生まれており、[illegible]は立候補するかしないか、最終議会ともみられるので町民に声明するのが必要である。ここで堂々と所信を述べて頂きたい』との質問に対して『ただいまの質問に、答え[illegible]については[illegible]支持団体や支持者の方々からの強い再出馬の要請があり、微力ではあるが事業執行の継続中のものもあり、再度立起の決意をしたのでみなさんの御示唆を頂きたい』と答弁して、ここではじめて正式に再出馬の意志表示[illegible]

安定体制の町づくりへ

水元派　町長一期のヂンクスを破って

そしてこの[illegible]さつそく水[illegible]別駅前に後援会事務所のカンバンが立つという手まわしのよさでしたが、しかし前回にくらべるとお互いに出あしはおそく、岡崎克雄氏にしても十日前の自民党支部大会で正式に出馬を決めたばかりでした。

[illegible]二百万円問[illegible]

[illegible]もない自[illegible]地区労は組[illegible]その日[illegible]に水元氏の方では[illegible]支持を打[illegible]ており、さきほど社[illegible]援会の結成大会で気勢をあげ[illegible]部が結成されたのでげましたが、この明暗のコントラストがそのまま[illegible]自民党との対決、組織票の[illegible]前回よりも強まつたにむすびつきましたが、今回はどうでしょうか。

○…お互いに出あしがおそかつたということは、すでに前回の当落の差が僅レスレの[illegible]で、[illegible]も負けた側もこれで完全に勝敗がついた選挙というよりも四年後の対決こそが本当の勝負という形でこんなに構えていたようなものの、それだけにお互いに相手の手の内を知りあい、[illegible]も固定化しているので、なにも早目にテマヒマと金をかけて動き出さなくてもということで、ユックリとなつたもよう。

○…水元氏の支持[illegible]は長年にわたる農協の[illegible]長として[illegible]農協に対して[illegible]よしにせよ、悪しきにせよ深く浸透していること、農業経済人としては管内でのキレものとして通つてきたうえに町長として四年間の行政が加わつて人物がひとまわり大きくなつたのも事実。

中川派、地区労、社会党の連合

○…そこへもつてきて水元氏は[illegible]島第一期生だつた関係から中川一郎代議士の後援会長にもあつたので、町内保守層を二分する[illegible]（本名武代議士支持派に対して）支持を得られる立場にあること。

○…そのうえさらに、相手の[illegible]起すす。

○…つまり、前の町議[illegible]選での中川[illegible]自民党[illegible]政市社会党の両氏[illegible]水元派の[illegible]票で、これを定着させ拡大させ[illegible]て水元票に仕立てあげられるかどうかにかかつています。

○…しかし、国会議員の場合は政党本位の選挙にはなるものの、自治体選挙となればなかなかそうはいかないようで、さきほどの京都府知事選がそれを示しており、自民、公明、民社の三党が推した柴田候補は衆議[illegible]の[illegible]実績からすれば圧倒的に大勝する計算になるのに、あけてみると社会共産の二党が推した二十川候補の圧勝となつたようにわからないもので、まして身近な町の選ともなればあのつながりこの関係と票がちらばつてしまい勝ちなもので、要するに候補個人の人がらや人気が当落を左右することになりそうで、国[illegible]ならないも[illegible]

○…そのうえ水元派は保守、革新の[illegible]世帯で社会党や地区労は革新町政を打ち出せば中川派を刺激するし、保守町政では革新派は不満なので、帰するところは保守、革新にこだわらないで反岡崎を最大公約数にして[illegible]回同様のたか[illegible]

長期的展望の町行政を

○…本別は戦後はもとより戦前のそれも開村いらい町村長は一期だけで〃お払い箱〃が常で、ただ吉田[illegible]四[illegible]氏があ[illegible]だをおいて二度のつとめを果しただけというこれでは落ちついて長期的な展望に立つて町づくりは難[illegible]

○…幸いにこの一期を通じて大きく指摘されるべき[illegible]はなく、重要問題はすべて町議会の満場一致で認められ、戦後もつとも安定した行政ぶりではなかつたかというのが[illegible]で、それというのも[illegible]

一回はこの安定した体制をつづけたいとしています。

○…本別中央小学校の統合新築とそのあとへ体育館の建設―（写真）―病院の改[illegible]

政治力で町の発展策を

岡崎派　党勢拡張で前回よりも好調に

一騎討ちの町長選挙で敗れたら最後、その人は第一線から退いて二度と町長選に打つて出ることもなく、周囲もそうとしているのがふつうで、政治的には世間から[illegible]けられないはこに[illegible]の風はつめたいものですが、岡崎克雄氏の場合はまったくその逆で、本人の意思いかんにか[illegible]負け[illegible]の日を[illegible]のように再出馬が既定のこととして周囲からかつがれどおしの珍しい存在といえましょう。それなのに、昨年十一月末の自民党支部臨時大会でここの町長選に対して支部として推薦候補を立てることだけを決めて、この十二日の大会まで候補者を決めなかつのでヤキモキした向もあつたようですが、それらの事情から宿命の水元氏との対決への見通しはどんなものでしょうか。

二百〇円の汚名雪辱へ

○…二百万円問題[illegible]とした」と[illegible]議会が[illegible]提案とき、当時岡崎町[illegible]時町議会を招集して「商工会に対する貸付金について」の議案を「岡崎克雄に対する貸付金について」と変更して、承認ところか特別委員会を設置して攻めたて[illegible]議事[illegible]決議にまでおよんだために、ついに岡崎町長の辞任[illegible]起訴という事件となつたもので、その前後の最悪の条件のもとでの町長選だつたのにもかかわらず[illegible]この決議が得られようとしたところ、野党側議員はこ[illegible]

た結果、一定の評価をつく[illegible]

○…それにしても岡崎氏の[illegible]さばりはおそかつたようですが、政党人としての岡崎氏は政治的な出所進退を個人的な都合で勝手に決めるわけにはいかない立場にあり、まして町長選ともなればことは重大で、個人の名誉回復や意地ばらし[illegible]次元の低いものであ[illegible]ていたもよう。

○…それには町政の現状はどうか、これに対して支部としてどういう政策をもつて町民に訴えるべきか、支部党員、党友の動向はどうかなどの作業がなされてきた結果、[illegible]

ることだけの予定をえたうえで、[illegible]党勢[illegible]地道な党勢拡張と内部[illegible]

保守一辺倒で大量得票は？

わらず、その票差はホンのわずかだつたこと。

○…そして裁判の結果は[illegible]崎氏に対して『被告は自己の[illegible]相当数の中小商工業者のための[illegible]益を追及するためでなく、[illegible]め本件の犯行に出たものであつた』との判決があつたのは、目的はただ岡崎氏を政治的に失脚させるがためのもので、あの二百万円は町[illegible]長として善意によつて商工会に貸しつけたものであることが証明されたこと。

○…前回の町長選を前にして当時の野党派議員（現在の与党派）が多数の力で二百万円問題を強引に追及したのは、目的はただ岡崎氏を政治的に失脚させるがためであつた[illegible]

○…それにかかわりに党[illegible]臨時大会で町長候補を立てて[illegible]もりあげて昨年十一月の支部[illegible]も充実し町内各地区での演説会や懇談会の積重ねによつて現在の水元町政に対する批判と不満のある町民が多いところから〃それではやろうという[illegible]ことになつたもの。

○…そこで候補者を決めるために四月十二日に臨時大会をひらいて[illegible]として[illegible]百五十名分の弁当を用意したものの、あつまりが悪くて弁当があまつてはと[illegible]

○…これでは岡崎氏にしてもその支持層にしても、このまま引つこんでいるわけにはいかない、いずれ次期町長選においてこの汚名をそそがなければならない、今回はその雪辱戦として、男としてどうしても勝ち抜かねばならない一戦。

○…岡崎派の強味は人なつ[illegible]ことい[illegible]らいの[illegible]ぶり。

心配していたところ、[illegible]こいの[illegible]はじまつていらいの盛会ぶり。

○…岡崎派の強味は[illegible]からの大[illegible]をみせた政治力に真[illegible]て選挙の手足[illegible]の[illegible]策[illegible]ことを[illegible]水元町政を否定するいうわじゆん、政策の実現を目的とする支部であるからば、なにも町長のポストを[illegible]と[illegible]なく〃も中央直結〃の政[illegible]自民党の支部として[illegible]反映させることができるのではないか―などなど。

○…[illegible]万円事件や婦人[illegible]題などの事前の[illegible]票をみると、こんどはやり易いといつた事情。

[illegible]ろい[illegible]票となるか、政[illegible]力[illegible]が行政の堅実性、合理性に不安をもたれてはいないか、支部[illegible]

前回の表情は明るく、前回は[illegible]潮気味のおりから町民の期待がかかつていることなどですが、その反面、保守一辺倒で[illegible]よつているので[illegible]というのは、前回は二百万円事件や婦人[illegible]

[illegible]所属議員を八名も擁しておりながら、町議会において[illegible]信任してきながら[illegible]は四年間にわた[illegible]

ないという自信のもとに対[illegible]

土地改良区問題はどうなる！

本別町土地改良区の請負工事代[illegible]

町長選を前にしてまたも本別十八番？の泥試合―との見方もあるようですが、安久津氏は告発はしたものの問題に対して、水元氏の取調えなどは町長選挙が終わつてからユックリやつてほしいと申し入れしたように、選挙戦には影響はあたえないための配慮をしたそうで、水元氏にしても町議会でも若干ふれていたように、なにかとやましいことは

[illegible]支払いをめぐつて〃書類[illegible]造〃の疑いがあるとして安久津納人前町議が十五日に水元孝夫理事長を本別警察署に告発したのに対して、これは事実無根であるとして水元氏が二十[illegible]日に安久津氏を名誉毀損と公告の容疑で同署に告訴しました

出来高が二百八十万円程度だつたのに改良区では六百万円の廃棄[illegible]証書を発行して発行したのかで、さらに問題なのは、この工事の赤字分を次年度の工事入札[illegible]つつ負担させたということで、このことは水元町長が議会で言明していますが、発注する側と請負業者とのあいだのこうした馴れ合い入札の在り方が問題で、これに議員が参加しているだけに不明朗といえましょう。

[illegible]指示[illegible]ことがはなはだ[illegible]ようが、だれがどのようにして発行したのかで、さら[illegible]

などで、事件の焦点は工事[illegible]

と[illegible]式に審議権を放棄したこと[illegible]

二〇…そこで安久津氏が特別委員会で調査の動議を出したが、一人の議員の賛成もなかつたもので、これまたタサイものニフ。

だつたこと。

[illegible]わたが、町外になれば自動的に理事[illegible]になるのに答弁したくないのは非[illegible]主的[illegible]

問題が警察沙汰にまでなつた事情は、安久津氏が三月の議会でとりあげたときに、水元町長は『土地改良区のことで町長として答弁する必要はない』と突つぱねたが、

抗措置として逆告訴におよんだのでしょうが、なにも刑事事件にならないとすれば告発した安久津氏が無[illegible]されることになるので、この静かな内[illegible]、内[illegible]合戦もおだやかなものではありません。

浴槽　ガス　ガス器具

風呂桶のご注文は
丈夫で香りの高い
ヒノキ、サワラ杉

日立ポリ浴槽
埋め込み式　据え置き式
大中小の各種あります

日立風呂釜
ガス洩れから火の心配がなくなり、安全対策がほどこされた新製品！

プロパンガス販売　日立化成特約店
武藤桶店　足寄町商１区　[illegible]４３７番

初夏の衣料　豊富に
入荷いたしました
婦人ブラウス　中子ブラウス
紳士長そでニットシャツ
婦人・中子ニットシャツ
その他各種大量に入荷いたしました　御覧下さい！

株式会社
Ⓜ
前田呉服店
足寄駅前商店街　電話一二一番

本別 足寄 陸別のみなさま！
北見へお出での節はどうぞ！
お座敷食堂　照勝
北見市４条西４丁目　Ｔ　４－８[illegible]
トランジスター劇場　メーゾンママ
北見市[illegible]西３丁目　Ｔ　４[illegible]
店主　小竹勝男

技術に生きる！
ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
あらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話142番

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二三一番

労基法・労災・失保・健保の事務代行
労務管理・経営管理の指導・相談
各官公庁署提出書類の作成・手続
損害保険取扱代理店，自賠責保険請求手続
厚生大臣・労働大臣・免許
社会保険労務士
豊田労務経営事務所
足寄町東一区　Ｔ　七〇